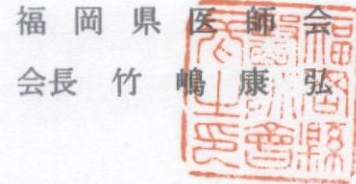


福岡県医発第1178号(地)

平成17年9月26日



各 医 師 会 長 殿



糖尿病予防対策事業の実施について

標記の件につきまして、福岡県保健福祉部健康対策課より別添のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

福岡県では、糖尿病対策の一次予防に重点をおき、保健と医療、地域と職域、学校等の連携を強化し、一次予防のための普及啓発活動や糖尿病予備軍対策、合併症対策の役割を明確化し、支援体制の整備を図り、総合的な糖尿病対策を推進いたしております。

つきましては、別紙要領に基づき標記事業を各保健福祉環境事務所において実施されることとありますので、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、本事業の実施につきまして協力方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 廣瀬真恵



(公印省略)

17健第 2452 号

平成17年9月20日

福岡県医師会長 殿

保健福祉部健康対策課長

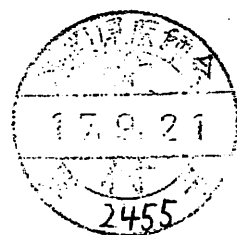
(健康栄養係)

糖尿病予防対策事業の実施について

福岡県の保健行政の推進につきましては、日頃から多大なる御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、福岡県では、糖尿病の一次予防に重点をおき、糖尿病予備軍への対策を強化し、総合的な糖尿病対策を推進するため、別紙要領に基づき標記事業を各保健福祉環境事務所で実施いたします。

つきましては、キャンペーンや研修会等を実施いたしますので、各事業についての御協力の程、よろしくお願いいたします。



糖 尿 病 予 防 対 策 事 業

1 目的

糖尿病は無症状の時期が長く発見が遅れやすいため、糖尿病予備軍や合併症の患者数は年々増加している。糖尿病の発症と経過には生活習慣が大きく関わっており、無症状の期間が長く、合併症により生活の質が著しく低下するため、糖尿病対策では一次予防が重要である。

そこで、保健と医療、地域と職域、学校等の連携を強化し、一次予防のための普及啓発活動や糖尿病予備軍対策、合併症対策の役割を明確化し、支援体制の整備を図り、総合的な糖尿病対策を推進するものである。

2 実施期間

平成17年9月から平成18年3月まで

3 事業内容

(1) 糖尿病対策推進会議（本庁開催）

糖尿病に関する関係団体（福岡県医師会、日本糖尿病協会福岡県支部、日本糖尿病学会九州支部）及び学識者等を委員とし、関係団体等との連携による総合的な糖尿病対策の推進を図る。

(2) 糖尿病予防対策事業

ア 街頭キャンペーンの実施

糖尿病及びその予備軍が増加していることから、「全国糖尿病週間」を中心として、医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、日本糖尿病協会福岡県支部、地域糖尿病療養指導士の会等と連携を図り、各保健福祉環境事務所において糖尿病予防普及啓発キャンペーンを実施する。

実施機関：本庁及び各保健福祉環境事務所

実施回数：1回以上

イ 地域における健康・食生活サポート体制づくり

外食・中食の利用が増加する中、飲食店や総菜店、学生食堂等において、糖尿病予防のためのヘルシーメニューの提供や栄養情報の提供を通して、糖尿病の発症と深く関連する食生活を健全なものへと改善推進していく。

（＊外食栄養成分表示定着促進事業として実施。）

①外食栄養成分表示の定着活動

②栄養成分表示モデル校の指定

ウ 普及啓発パンフレットの作成

街頭キャンペーンや予防教室等で配布するパンフレットを作成する。

(3) 糖尿病予備軍対策事業

糖尿病指導を受ける機会が少ない職域等の糖尿病予備軍に対し、関係団体と連携して支援体制づくりを行い、職域を訪問して出前講座による集団指導や個別指導を実施する。

実施機関：各保健福祉環境事務所（10カ所以上）

実施内容：出前講座による糖尿病予防集団及び個別指導

(4) 糖尿病対策モデル事業（3 保健福祉環境事務所）

ア 糖尿病対策連携会議

実施回数：2 回程度

出席者：地域の医療関係団体（医師会・栄養士会・看護協会・糖尿病協会等）
市町村行政関係者、教育事務所、PTA 関係者、職域関係者等

内容（例）：各団体等における糖尿病対策の実施状況についての情報交換
モデル職域、モデル校の選定
地域・学校・関係団体・医療機関との連携モデルの構築

イ モデル職域における糖尿病予防対策

実施回数：3 回程度

対象：モデル事業所等の管理者や給食関係者
従業員等

内容（例）：職域における健康教育の実施状況把握
従業員への集団健康教育及び個別健康教育
糖尿病予防のためのヘルシーメニューの提供
食事バランスガイドの活用
職域健康教育連携プログラムの構築

ウ モデル校における1次予防教室開催

実施回数：2 回程度

対象：（小・中・高校・大学等）
モデル校関係者、PTA、生徒又は学生等

内容（例）：生活習慣病の予防について
糖尿病についての基礎知識
糖尿病予防の食生活
積極的な運動の勧め

(5) 糖尿病予防対策事業研修会（既実施分）

福岡県国民健康保険団体連合会との共催による研修会の実施。

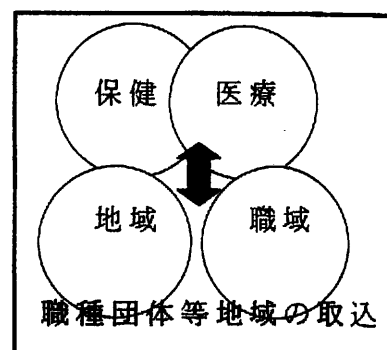
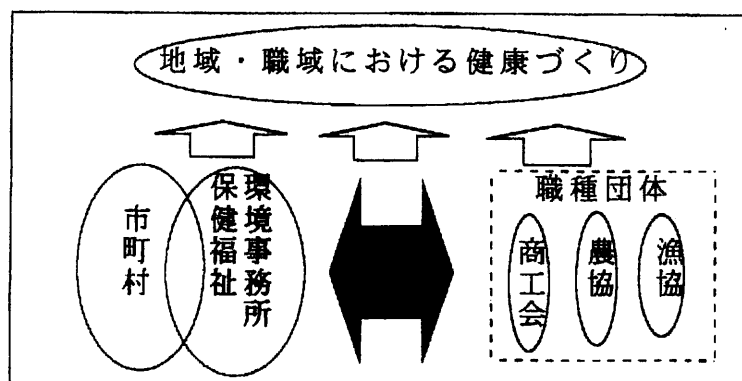
対象者：市町村保健師・栄養士・その他保健事業関係職員
各保健福祉環境事務所関係職員

日時：平成17年7月20日（水）

場所：吉塚合同庁舎

【平成16年度】

- (1) 糖尿病対策検討会議
- (2) 糖尿病予防普及啓発
 - ① 予備軍指導

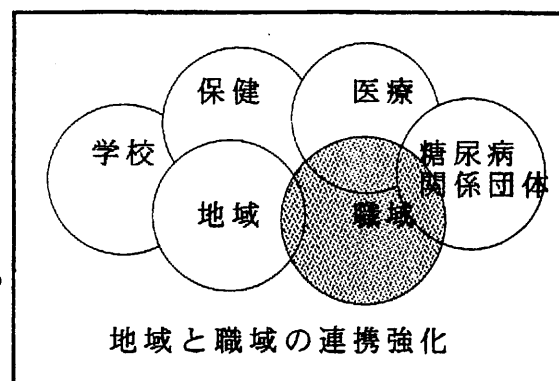


② 予備軍支援のための関係者研修会

(3) 糖尿病合併症予防教室

【平成17年度】

- (1) 糖尿病対策検討会議
総合的な県の対策を検討
- (2) 糖尿病対策基盤整備
平成16年度に実施した職域との連携づくりを基盤に、モデル地区における連携強化を図り、糖尿病対策の基盤整備を行う。
- (3) 糖尿病対策事業
 - ① 予防対策
 - ・モデル職域における関係団体との連携による予備軍対策プログラムの開発
 - ・モデル校における1次予防教室の開催
 - ・食のサポートシステムの構築

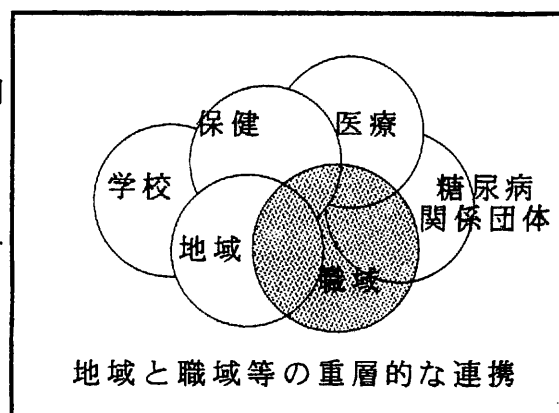


② 予防普及啓発活動

- ・市町村、医師会、日本糖尿病協会、糖尿病療養指導士等との連携のもとにキャンペーンを実施
- ・普及媒体の作成

【平成18年度】

- (1) 糖尿病対策検討会議
- (2) 糖尿病対策基盤整備
職域モデルを拡大し、地域における連携強化を図り、糖尿病対策の基盤整備を行う。
- (3) 糖尿病対策事業
 - ① 予防対策
 - ・職域における関係団体との連携による予備軍対策プログラムの実施
 - ・モデルを校における1次予防教室の開催
 - ・食のサポートシステムの普及
 - ② 予防普及啓発活動
 - ・関係団体との連携のもとにキャンペーンを実施
 - ・普及媒体の作成



福岡県糖尿病対策推進会議について

- ▽ 糖尿病の患者数は、年々増加の一途をたどっており、この5年間に250万人も増加し、1620万人といわれております。糖尿病は今や国民病と称しても過言ではない状況にあります。

この現状を打開するために、国では「健康フロンティア戦略」の一つに「糖尿病対策」を掲げ、発生率を20%改善することを目標として取り組んでいます。国民の健康づくりのためには、生活習慣病、とくに糖尿病対策について、積極的に取り組む必要があるとの認識から、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の三者により、平成17年2月に「糖尿病対策推進会議」が設立され、糖尿病対策のより一層の推進が図られることとなりました。

- ▽ 福岡県では、国の動向を踏まえ、これまで開催してきました「福岡県糖尿病対策会議」を一新し、糖尿病対策により積極的に取り組むため、「糖尿病対策推進会議」の福岡県版を、福岡県医師会、日本糖尿病協会福岡県支部、日本糖尿病学会九州支部と福岡県の四者の総意により平成17年9月2日に立ち上げました。
- ▽ この会議により、関係機関や関係団体の有機的な連携を図り、地域・職域等それぞれの場面での糖尿病予防対策についての情報交換を行い、糖尿病有病者の増加を抑制するため、より有効な方策を協議して行きます。

平成17年9月

福岡県糖尿病対策推進会議事務局

福岡県保健福祉部健康対策課

TEL : 092-643-3269

E-メール : kenko@pref.fukuoka.lg.jp